

# 士別市立病院新経営改革プラン 実績報告書

〔平成27～令和2年度実施分〕

令和3年7月  
士別市

## 1. 市立病院経営改革プラン実施概要

市立病院を取り巻く現状は、慢性的な医師不足、人口減少・少子高齢化により従来にも増して厳しい経営を余儀なくされており、前プランである病院経営改革プラン(平成20～26年度)を検証するとともに、27年度を初年度とする30年度までの新病院経営改革プランを策定し、経営改善に取り組み、さらに国の新公立病院改革ガイドラインに基づき、28年度末には計画期間を32年度とまでとするとともに、一般会計からの繰り出し基準の見直しのほか、30年度の地方公営企業法の全部適用への移行をスケジュール化しました。

経営改善計画の令和2年度に取り組む具体的項目については計画では34項目ですが、一部実施も含め35項目について実施し、実施率は102.9%となりましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため2項目が未実施となりました。

「経営の安定性、病院機能の明確化」については、名寄市立総合病院との連携において、これまでよりも多くの転院患者の受入れとなりました。さらに連携強化を図るため両病院により7月に設立した一般社団法人「上川北部医療連携推進機構」が、9月には地域医療連携推進法人として認定を受け、薬品・診療材料の共同価格交渉に向けた準備を進めたところです。また、言語聴覚士の採用などリハビリ体制の強化、在宅医療の充実にも努めたほか、入院環境改善のためナースコールの更新により個別対応化、ベッドカメラの導入を図りました。

「医師確保対策」については大学医局に対する要望、北海道や各種団体を通じた派遣依頼、ホームページなどを活用した募集、医師紹介業者を通じての情報収集、知己を通じた声掛けなど様々な形で取り組みました。2年4月には外科、9月には整形外科の常勤医師を確保し、常勤医師9名、非常勤医師2名の診療体制とはなりましたが、名寄市立総合病院、旭川医科大学、北海道大学からの派遣を受けることにより診療体制を維持したところです。

「収益確保」に当たっては、回復期・慢性期などの長期療養を必要とする患者に対応するため、一般病棟60床、療養病棟88床の計148床とし、その内、地域包括ケア病床27床を設置して効率的な運用を図ったところですが、8月には新型コロナウイルス感染症患者等受入協力医療機関の指定を受けるとともに感染症者用として5階病棟に4室6床を確保する中で対応となりました。

新型コロナウイルス感染症対策としては、発熱者外来用として専用プレハブを設置するとともにPCR検査機器の整備を図り検査体制の充実を図りました。

また、市内訪問看護ステーションの閉鎖に伴う訪問看護事業の拡大、訪問リハビリ体制の充実や新たな加算の取得、市内開業医との連携によるCT・MRIなどの依頼撮影により収益の確保に努めたところです。

「患者サービスの向上」では、新型コロナウイルスの感染対策として来院者の発熱確認を実施しているほか、入院患者の面会制限に伴う1階の病棟受付配置と、リモート面会についても対応したところです。

「効率的な業務の取り組み・経費の節減」では、各部署における業務目標の設定と評価を試行したほか、患者数に応じた適正な人員配置をするなど経費の節減に努めました。

この結果、2年度の入院患者数は前年度に比べて4.7%の増、外来患者数は3.8%の減となったものの診療材料費をはじめ費用の圧縮にも努めた結果、当初予定した一般会計からの繰入金金を約7千6百万円減額する中で、収益的収支においては約1千5百万円の純利益となりました。

## 2. 改革プランの取組進捗状況（2年度分）

区 分	項目数	計 画					実 績				
		継続 実施	実施	一部 実施	検討	なし	継続 実施	実施	一部 実施	検討	未実施
①経営の安定性（病院機能の明確化）	11	7	1		1	2	8	3			
②医師確保対策	7	5	1			1	5	1			
③収益確保	10	7		1	1	1	7	1	1	1	
④患者サービスの向上	5	4				1	3			1	
⑤効率的な業務の取り組み・経費の削減	8	4	1	1		2	4	1	1		
計	41	27	3	2	2	7	27	6	2	2	

※検討実施は実施に、見直検討は検討としています。

計画では継続実施・実施・一部実施・検討を合わせると34項目ですが、35項目で実施となり、実施率 **102.9%**となりましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため2項目が未実施となりました。

## 3. 経営改善取組状況

### （1）経営の安定性（病院機能の明確化）

項目	具体的な取組	年度	計画	実績	取組内容等										
①市民が安心できる医療体制の提供	ア. 2次救急体制の維持	27 ～ 2	継続実施	継続実施	27年4月から脳血管疾患の患者の救急隊員トリアージによる名寄市立総合病院への直接搬送体制を確立。 整形外科医減少に伴い休日における整形外科疾患患者についても直接搬送体制を確立。 専門医不在時の救急搬送調整。 29年5月に上川北部地域救急業務高度化推進協議会を組織。										
	イ. 名寄市立総合病院との連携強化	27 ～ 2	継続実施	継続実施	地域医療室間の定例協議の開催。（TV会議システム活用。） 直接救急搬送体制の協議確立。 名寄市立総合病院からの年間転院患者数 (2)・①・イに掲載 名寄市立総合病院からの診療支援体制の強化 30年6月から月2回の当直医師派遣開始 31年1月から循環器内科外来診療医師派遣開始 令和元年度 地域医療連携推進法人について名寄市立総合病院と協議・設立準備を確認（2年3月記者発表） 2年7月 一般社団法人「上川北部医療連携推進機構」設立 2年9月 地域医療連携推進法人として知事認定 地域医療連携推進法人「上川北部医療連携推進機構」となる。 薬品・診療材料の共同価格交渉準備開始										
	ウ. 地域連携パスの導入【新規】	29 30 ～ 2	検討	実施 継続実施	30年1月 名寄市立総合病院と大腿骨頸部骨折の地域連携パスの運用開始。 〇名寄市立総合病院からの地域連携パス入院患者数 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th colspan="2">患者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>29年度</td> <td>7人</td> </tr> <tr> <td>30年度</td> <td>15人</td> </tr> <tr> <td>元年度</td> <td>13人</td> </tr> <tr> <td>2年度</td> <td>28人</td> </tr> </tbody> </table>	患者数		29年度	7人	30年度	15人	元年度	13人	2年度	28人
患者数															
29年度	7人														
30年度	15人														
元年度	13人														
2年度	28人														

地域医療室調べ

工. 他の急性期病院からの慢性期、回復期患者の受け入れ体制の検討	27	検討	実施	病院運営改革会議、経営戦略会議での病棟体制の検討。 名寄市立総合病院との地域連携空間の定例協議の開催。 ○急性期病院からの受け入れ患者数 <table border="1" data-bbox="938 282 1390 557"> <thead> <tr> <th></th> <th>患者数</th> <th>うち名寄市立</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>26年度</td> <td>20人</td> <td>8人</td> </tr> <tr> <td>27年度</td> <td>66人</td> <td>48人</td> </tr> <tr> <td>28年度</td> <td>88人</td> <td>50人</td> </tr> <tr> <td>29年度</td> <td>114人</td> <td>51人</td> </tr> <tr> <td>30年度</td> <td>90人</td> <td>57人</td> </tr> <tr> <td>元年度</td> <td>108人</td> <td>72人</td> </tr> <tr> <td>2年度</td> <td>130人</td> <td>103人</td> </tr> </tbody> </table>		患者数	うち名寄市立	26年度	20人	8人	27年度	66人	48人	28年度	88人	50人	29年度	114人	51人	30年度	90人	57人	元年度	108人	72人	2年度	130人	103人
		患者数	うち名寄市立																									
	26年度	20人	8人																									
27年度	66人	48人																										
28年度	88人	50人																										
29年度	114人	51人																										
30年度	90人	57人																										
元年度	108人	72人																										
2年度	130人	103人																										
28 ～ 2	継続実施	継続実施	地域医療室調べ																									
才. 民間医療機関との連携強化	27 ～ 2	継続実施	継続実施	市内開業医による外来・当直支援（27・28年度） ポラリスネットワークの拡大推進 30年10月から北海道緊急臨時的医師派遣事業により旭川市内民間病院から外来医師派遣開始（2年4月で終了） 札幌市内医療機関から週末透析業務の医師派遣																								
力. 今後の医療需要に応じた病院機能の検討	27 ～ 2	継続実施	継続実施	病院運営改革会議、経営戦略会議での病棟体制の検討。 地域包括ケア病床の設置、4階病棟を一般病床から療養病床に改修するなど、急性期中心から回復期・慢性期中心へと移行。 平成30年12月に地域包括ケア病床を5階一般病棟9床から4階療養病棟27床に設置替え。 令和2年4月に新型コロナウイルス感染者受け入れベッドを5階東病棟に6床確保。 8月に新型コロナウイルス感染症患者等受入協力医療機関の指定を受ける。																								
②高齢化社会に対応した医療の提供	ア. 療養病床の増床による長期入院患者の受け入れ	27 ～ 2	継続実施	継続実施 国の「地域医療介護総合確保基金」の活用により27年11月に4階病棟を改修し療養病床を増床し許可病床を179床（一般91床、療養88床）に変更。 療養病棟の在宅復帰機能鋭化型を取得 27年11月に2階東病棟を4階に移転 （療養運用30床→50床） 28年3月に2階東病棟を再開 （療養運用50床→80床） 28年7月に4階療養病床運用拡大 （50床→58床） 29年4月 許可病床変更148床（一般60床、療養88床） 30年12月に4階療養病棟内に地域包括ケア病床27床設置 ○療養病棟述べ患者数 <table border="1" data-bbox="938 1641 1233 1879"> <tbody> <tr> <td>26年度</td> <td>3,806人</td> </tr> <tr> <td>27年度</td> <td>11,897人</td> </tr> <tr> <td>28年度</td> <td>23,938人</td> </tr> <tr> <td>29年度</td> <td>25,384人</td> </tr> <tr> <td>30年度</td> <td>25,417人</td> </tr> <tr> <td>元年度</td> <td>24,813人</td> </tr> <tr> <td>2年度</td> <td>26,650人</td> </tr> </tbody> </table>	26年度	3,806人	27年度	11,897人	28年度	23,938人	29年度	25,384人	30年度	25,417人	元年度	24,813人	2年度	26,650人										
26年度	3,806人																											
27年度	11,897人																											
28年度	23,938人																											
29年度	25,384人																											
30年度	25,417人																											
元年度	24,813人																											
2年度	26,650人																											
				※入院環境改善 3年3月 ナースコール更新（個別対応化、ベッドカメラの導入）																								

イ. 訪問診療・看護・リハビリ等在宅医療の強化	27 ～ 2	実施	実施	○訪問件数			
					診療	看護	リハビリ
				26年度	112	3,663	70
				27年度	451	3,748	84
				28年度	400	3,612	181
				29年度	265	3,199	208
				30年度	190	2,952	469
				元年度	227	3,575	1,224
				2年度	178	4,310	2,036
				患者数調べ・管理会議資料			
ウ. 地域包括ケア病床の効率的・効果的運用	27	検討	実施	地域包括ケア病床を27年5月に4階病棟(3室8床)に開設。病棟改修に伴い10月に5階病棟(3室9床)に変更。			
				28	実施	継続実施	
				29	見直検討	継続実施	
				30 ～ 2		実施	平成30年12月に地域包括ケア病床を5階一般病棟9床から4階療養病棟27床に増床設置替え。
エ. 地域医療室と介護・福祉施設等の連携による地域包括ケアシステムの構築	27	検討	実施	地域包括ケア会議への参画。医療介護連携会議ワーキンググループ内での検討実施。			
				28 ～ 2	継続実施	継続実施	市立病院とケアマネージャーの連携についての協議会開催。情報共有シートの作成。土別市在宅医療介護連携推進会議の開催。
オ. 訪問看護室のステーション化【新規】	28	検討	検討				
				29 ～ 2	検討	実施	30年1月に土別市立病院訪問看護ステーション「あゆみ」を開設。 令和2年4月から北海道総合在宅ケア事業団土別訪問看護ステーションの廃止に伴い体制を強化。

(2) 医師確保対策

項目	具体的な取組	年度	計画	実績	取組内容等
①医師確保の推進	ア. 道内医療大学との連携	27 ～ 2	継続実施	継続実施	旭川医科大学からの外来出張医の派遣継続。 北海道大学からの週末当直医の派遣継続。 元年度から旭川医科大学からの当直派遣(第2内科・救急)、内科予約外診療派遣(第2内科) 2年度から旭川医科大学(外科)からの当直派遣
	イ. 大規模民間病院との連携	27 28	検討	実施	埼玉医科大学国際医療センターから消化器内視鏡医の派遣継続。(28年度で終了)
	ウ. 知己・地縁を通じた招致活動の推進	27 ～ 2	継続実施	継続実施	知己を通じ医師勧誘の実施。 28年8月 消化器内科医師1名確保(常勤) 平成28年12月 消化器内科医師1名確保(非常勤) 31年4月 内科医師1名確保(常勤) 令和2年4月 外科医師1名確保(常勤) 2年9月 整形外科医師1名確保(常勤)
	エ. インターネット及び民間紹介業者の積極的活用	27 ～ 2	実施	実施	医師転職サイトへの掲載依頼(27年度3件追加)継続掲載
	オ. インセンティブ手当等の検討	27	検討	実施	緊急呼出手当の支給対象者の拡大。
		28 ～ 2	継続実施	継続実施	28年4月に緊急呼出手当及び救急診療業務手当の増額改定。 30年4月に内科予約外診療業務手当を創設 31年4月に医師就業支度金貸付制度を創設

② 医師負担軽減	ア. 医師事務作業補助の強化、オーダーリングシステムの機能向上による診療業務負担軽減	27 ～ 2	検討実施	継続実施	医師事務作業補助者の配置 オーダーリング更新時に診断書作成システムを導入。
	イ. コンビニ受診抑制などの市民周知	27 ～ 2	継続実施	継続実施	士別市広報に掲載周知。ホームページ掲載。

(3) 収益確保

項目	具体的な取組	年度	計画	実績	取組内容等																
① 患者確保	ア. 療養病床の増床による長期療養患者の受入れ(再掲)	27 ～ 2	継続実施	継続実施	(1)・②・ア に掲載																
	イ. 他の急性期病院からの慢性期、回復期患者の受入れ体制の検討(再掲)	27	検討	実施	(1)・①・ウ に掲載																
		28 ～ 2	継続実施	継続実施																	
	ウ. 入院透析の受入れ	27 ～ 2	継続実施	継続実施	○入院患者の透析件数 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>26年度</td> <td>685</td> </tr> <tr> <td>27年度</td> <td>888</td> </tr> <tr> <td>28年度</td> <td>1,117</td> </tr> <tr> <td>29年度</td> <td>1,520</td> </tr> <tr> <td>30年度</td> <td>1,145</td> </tr> <tr> <td>元年度</td> <td>1,533</td> </tr> <tr> <td>2年度</td> <td>1,818</td> </tr> </tbody> </table> 医療情報管理室調べ		件数	26年度	685	27年度	888	28年度	1,117	29年度	1,520	30年度	1,145	元年度	1,533	2年度	1,818
		件数																			
	26年度	685																			
	27年度	888																			
	28年度	1,117																			
	29年度	1,520																			
	30年度	1,145																			
元年度	1,533																				
2年度	1,818																				
エ. 市民公開講座や病院見学会による病院機能の市民周知	27	継続実施	継続実施	市民公開講座(北海道大学第1外科武富教授)開催。市民病院見学会の開催、土曜こども文化村院内見学、まなびとくらしのフェスティバル参加。出前講座(保健推進会議へ山田院長、第三自治会敬老会に藤野リハビリ室長、九十九大学講義に長島副院長、ロータリークラブに山田院長、消費者協会に澤口医師と福川看護師、シルバー人材センターへ長島副院長、食生活改善協議会へ山田院長)																	
	28	継続実施	継続実施	市民公開講座(北海道大学循環器内科筒井教授)の開催。まなびとくらしのフェスティバル参加。出前講座(自治連わがまちしべつの未来を語る会へ長島院長、JA北ひびき営農部へ山田医師、九十九大学講義に野々川薬局長、佐藤科長)																	
	29	継続実施	継続実施	市民公開講座(全日本病院会北海道支部長 徳田禎久氏)開催。まなびとくらしのフェスティバル参加。出前講座(ナナカマドシニアクラブに宮本作業療法士)																	
	30	継続実施	継続実施	市民公開講座(前全国自治体病院協議会会長 邊見公雄氏、旭川医科大学内科学講座病態代謝内科学太田教授)開催。まなびとくらしのフェスティバル参加。																	
	元	継続実施	継続実施	市民公開講座(LMC 地域交流会開催)、出前講座(学校職員向け新型コロナウイルス対応除菌清掃指導)、士別救急救命講演会(学校、保育所、少年団体向け業務対応としての救急処置)、まなびとくらしのフェスティバル参加。																	
	2	継続実施	未実施	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため各種集会・研修会等を中止。																	

② 医業収益の確保	ア. 訪問診療・看護・リハビリなど在宅医療の充実(再掲)	27 ～ 2	継続実施	継続実施	1・(2)・イ に掲載																												
	イ. 診療報酬算定における新たな加算などの取得	27	継続実施	継続実施	2 階東病棟(その後4 階病棟)で療養病棟入院基本料1 及び在宅復帰機能強化加算を取得。急性期看護補助体制加算2.5対1、地域包括ケア入院医療管理料1の取得。 診療報酬改定に向け事前学習会を開催。																												
		28	継続実施	継続実施	医師事務補助体制加算1を届出(一般25:1、療養75:1)																												
		29	継続実施	継続実施	2 階東病棟についても療養病棟入院基本料1 算定開始。病棟薬剤業務加算の算定再開。診療報酬改定に向け事前学習会を開催。																												
		30	継続実施	継続実施	地域包括ケア病床を4 階療養病棟に設置替えするとともに地域包括ケア入院医療管理料1 を取得。																												
		元	継続実施	継続実施	後発医薬品使用体制加算3、呼吸器リハビリテーション料1、ADL 維持向上等加算を取得																												
		2	継続実施	継続実施	下肢抹消動脈疾患指導管理加算を取得																												
	ウ. 人間ドック枠の拡大、レディースドックの検討	27 ～ 2	検討 一部実施	一部実施	27 年度 金曜日に午後ドック(5 人枠)を新設。 (医師体制確保できず28 年度で中止) 29 年度 他部署医師のバックアップによる健診日の確保 30 年度 スポット医師の確保による健診日の確保 元年度 内科医当番による健診体制の確立。(休診日の解消)																												
	エ. CT・MRI など民間医療機関からの読影受託の検討	27	検討	実施	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>CT</td> <td>MRI</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td>27 年度</td> <td>16 件</td> <td>14 件</td> <td>28 件</td> </tr> <tr> <td>28 年度</td> <td>1 件</td> <td>9 件</td> <td>20 件</td> </tr> <tr> <td>29 年度</td> <td>8 件</td> <td>15 件</td> <td>18 件</td> </tr> <tr> <td>30 年度</td> <td>2 件</td> <td>16 件</td> <td>14 件</td> </tr> <tr> <td>元年度</td> <td>37 件</td> <td>123 件</td> <td>10 件</td> </tr> <tr> <td>2 年度</td> <td>26 件</td> <td>219 件</td> <td>9 件</td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">経理係調べ</p>		CT	MRI	その他	27 年度	16 件	14 件	28 件	28 年度	1 件	9 件	20 件	29 年度	8 件	15 件	18 件	30 年度	2 件	16 件	14 件	元年度	37 件	123 件	10 件	2 年度	26 件	219 件	9 件
			CT	MRI		その他																											
27 年度	16 件	14 件	28 件																														
28 年度	1 件	9 件	20 件																														
29 年度	8 件	15 件	18 件																														
30 年度	2 件	16 件	14 件																														
元年度	37 件	123 件	10 件																														
2 年度	26 件	219 件	9 件																														
28			継続実施																														
オ. 訪問看護室のステーション化【新規】	28	検討	検討	(1)・②・オに掲載																													
	29 ～ 2	検討	実施																														
③ 未収金対策	ア. 民間会社への徴収委託の検討	27	検討	検討	翌年度導入に向け検討。																												
		28 ～ 2	継続実施	継続実施	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>依頼金額総額</td> <td>収納金額</td> </tr> <tr> <td>28 年度</td> <td>1,979,325 円</td> <td>255,596 円</td> </tr> <tr> <td>29 年度</td> <td>553,574 円</td> <td>195,835 円</td> </tr> <tr> <td>30 年度</td> <td>553,284 円</td> <td>96,310 円</td> </tr> <tr> <td>元年度</td> <td>304,600 円</td> <td>81,655 円</td> </tr> <tr> <td>2 年度</td> <td>549,620 円</td> <td>30,490 円</td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">医事係調べ</p>		依頼金額総額	収納金額	28 年度	1,979,325 円	255,596 円	29 年度	553,574 円	195,835 円	30 年度	553,284 円	96,310 円	元年度	304,600 円	81,655 円	2 年度	549,620 円	30,490 円										
			依頼金額総額	収納金額																													
28 年度	1,979,325 円	255,596 円																															
29 年度	553,574 円	195,835 円																															
30 年度	553,284 円	96,310 円																															
元年度	304,600 円	81,655 円																															
2 年度	549,620 円	30,490 円																															

(4) 患者サービスの向上

項目	具体的な取組	年度	計画	実績	取組内容等
① 市民サービスの向上	ア. 医師・看護師等医療スタッフ接遇研修の実施	27 ～ 元	継続実施	継続実施	患者サービス委員会等による接遇研修の開催。
		2	継続実施	未実施	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため各種研修会の中止。

イ. 病院コンシェルジュの配置	27 ～ 2	継続実施	継続実施	看護師（臨時職員）を1階総合案内に配置。（元年度まで） 2年度は、外来患者数の減少を受け総合案内に機能を集約するとともに、新型コロナウイルス感染防止対策として来院者発熱チェック、面会制限に伴い1階に病棟受付を配置したほか、リモート面会にも対応。
ウ. 外来待合室環境改善	27	検討	未実施	
	28		実施	1階2階外来多目的トイレの改善、1階待合室のTV設置。
	30		実施	2階外来男子トイレにベビーベッド設置。 2階透析センタートイレを多目的トイレに改修。オストメイト設置
	2		実施	新型コロナウイルス感染防止対策として待合椅子等の消毒実施。発熱者待機場所の設置。救急外来用トイレの洋式化、洗面蛇口の自動水栓化。
エ. 入院、外来患者アンケートの実施	27 ～ 2	継続実施	継続実施	入院患者アンケートの継続実施。
オ. 内科外来診療体制見直しによる待ち時間の解消	27	継続実施	継続実施	新患患者の多い月曜日午前に新患専任の医師を追加配置。
	28 ～ 2	継続実施	継続実施	内科外来に予約外（新患）担当医を配置し、待ち時間の短縮を図った。

(5) 効率的な業務の取り組み・経費節減

項目	具体的な取組	年度	計画	実績	取組内容等																															
①経営形態の検討	ア. 地方公営企業法の全部適用等、経営形態の検討	27	検討	未実施	病院経営改革会議で地方公営企業法の全部適用を検討し、新経営改革プランの見直しにより平成30年4月移行をスケジュール化した。 30年12月 公営企業法の全部適用に向け、土別市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正。  30年4月から地方公営企業法の全部を適用し、事業管理者を設置した。																															
		28 29	検討	検討																																
		30 ～ 2	実施	実施																																
②効率的業務の取り組み	イ. 各部門におけるバランススコアカード等の導入	27 ～ 2	検討 一部実施	一部実施	看護部で年間活動計画と評価を実施。 元年度から他部署でも業務目標の設定と評価を試行																															
	ウ. 医事業務、給食業務などの委託業務の見直し	27 ～ 2	継続実施	継続実施	27年度 滅菌業務一部見直しによる業務委託実施 28年度 CT、MRI、シネアンギオ保守の業務内容変更 29年度・2年度 給食業者決定にプロポーザル方式導入実施																															
	エ. 患者数に応じた適正な職員配置	27 ～ 2	継続実施	継続実施	<p style="text-align: center;">職員数</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>看護職</th> <th>コメディカル</th> <th>事務</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>27年4月</td> <td>123人</td> <td>39人</td> <td>13人</td> </tr> <tr> <td>28年4月</td> <td>112人</td> <td>39人</td> <td>12人</td> </tr> <tr> <td>29年4月</td> <td>103人</td> <td>38人</td> <td>13人</td> </tr> <tr> <td>30年4月</td> <td>96人</td> <td>38人</td> <td>12人</td> </tr> <tr> <td>31年4月</td> <td>94人</td> <td>38人</td> <td>13人</td> </tr> <tr> <td>2年4月</td> <td>95人</td> <td>40人</td> <td>13人</td> </tr> <tr> <td>3年4月</td> <td>91人</td> <td>41人</td> <td>13人</td> </tr> </tbody> </table> 30年度 理学・作業療法士の増員 元年度 言語聴覚士の増員、訪問看護師の増員		看護職	コメディカル	事務	27年4月	123人	39人	13人	28年4月	112人	39人	12人	29年4月	103人	38人	13人	30年4月	96人	38人	12人	31年4月	94人	38人	13人	2年4月	95人	40人	13人	3年4月	91人	41人
	看護職	コメディカル	事務																																	
27年4月	123人	39人	13人																																	
28年4月	112人	39人	12人																																	
29年4月	103人	38人	13人																																	
30年4月	96人	38人	12人																																	
31年4月	94人	38人	13人																																	
2年4月	95人	40人	13人																																	
3年4月	91人	41人	13人																																	



	オ. 時間外勤務の削減	27 ～ 2	継続実施	継続実施	業務改善委員会等による業務効率化の推進により時間外勤務の削減に努めた。 1人当たり時間外勤務(年間) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>看護職</th> <th>コメディカル</th> <th>事務</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>26年度</td> <td>121時間</td> <td>199時間</td> <td>162時間</td> </tr> <tr> <td>27年度</td> <td>111時間</td> <td>183時間</td> <td>174時間</td> </tr> <tr> <td>28年度</td> <td>118時間</td> <td>124時間</td> <td>115時間</td> </tr> <tr> <td>29年度</td> <td>92時間</td> <td>147時間</td> <td>188時間</td> </tr> <tr> <td>30年度</td> <td>68時間</td> <td>125時間</td> <td>117時間</td> </tr> <tr> <td>元年度</td> <td>65時間</td> <td>120時間</td> <td>168時間</td> </tr> <tr> <td>2年度</td> <td>52時間</td> <td>118時間</td> <td>117時間</td> </tr> </tbody> </table>		看護職	コメディカル	事務	26年度	121時間	199時間	162時間	27年度	111時間	183時間	174時間	28年度	118時間	124時間	115時間	29年度	92時間	147時間	188時間	30年度	68時間	125時間	117時間	元年度	65時間	120時間	168時間	2年度	52時間	118時間	117時間
	看護職	コメディカル	事務																																		
26年度	121時間	199時間	162時間																																		
27年度	111時間	183時間	174時間																																		
28年度	118時間	124時間	115時間																																		
29年度	92時間	147時間	188時間																																		
30年度	68時間	125時間	117時間																																		
元年度	65時間	120時間	168時間																																		
2年度	52時間	118時間	117時間																																		
③経費の削減	ア. 院内照明のLED化の推進等	27	検討	実施	照明修繕時のLED化の実施(1灯) 4階病棟改修(食堂等16灯)																																
		28	検討	実施	照明修繕時のLED化の実施(5灯) 誘導灯のLED化の実施(106か所)																																
		29	一部実施	実施	照明修繕時のLED化の実施(9灯) 水道節水弁の導入により使用水量の削減を図った。																																
		30		実施	照明修繕時のLED化の実施(3灯)																																
		元		実施	照明修繕時のLED化の実施(8灯)																																
		2		実施	全照明LED化調査準備																																
	イ. 院内各種委員会の見直し	27	検討	実施	委員会総数 27 データ提出加算に伴いコーティング委員会を新設。																																
		28	一部実施	未実施																																	
		29		実施	広報委員会と患者サービス委員会を統合し広報サービス委員会とした。																																
	ウ. 看護師修学資金貸付の抑制	27 28 29 30 元 2	継続実施	継続実施	修学資金貸付																																
						新規貸付	貸付総数	貸付金額																													
					26年度	2人	12人	9,870千円																													
27年度					2人	6人	4,410千円																														
28年度					2人	7人	5,320千円																														
29年度					1人	5人	4,130千円																														
30年度					0人	3人	2,520千円																														
元年度					2人	2人	1,680千円																														
2年度					1人	3人	1,750千円																														

#### 4. 決算の状況

##### 【収益的収支】 税込

(単位：百万円)

項目		27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	
収	1 医業収益	2,538	2,500	2,654	2,597	2,475	2,475	
	(1)診療収入	2,262	2,227	2,344	2,283	2,154	2,146	
	入院収益	1,256	1,259	1,356	1,293	1,222	1,265	
	外来収益	1,006	968	988	990	932	881	
	(2)その他	276	273	310	314	231	329	
	その他医業収益	134	131	134	138	145	152	
	2 医業外収益	883	848	849	806	797	812	
	(1)他会計負担金	321	319	457	407	335	239	
	(2)他会計補助金	400	359	147	167	217	201	
	(3)道補助金	21	20	19	19	18	129	
入	(4)長期前受金戻入	122	134	203	191	205	214	
	(5)その他	19	16	23	22	22	29	
	その他医業外収益	18	15	22	21	22	29	
	患者外給食収益	1	1	1	1	0	0	
	経常収益 A	3,421	3,348	3,503	3,403	3,272	3,287	
	支	1 医業費用	3,365	3,309	3,330	3,232	3,227	3,242
		(1)給与費	1,733	1,669	1,691	1,632	1,639	1,638
		(2)材料費	517	519	564	486	414	398
		(3)経費	900	886	835	875	936	942
		(4)減価償却費	183	204	204	207	214	237
(5)その他		32	31	36	32	34	27	
2 医業外費用		27	24	21	15	14	33	
経常費用 B	3,392	3,333	3,351	3,247	3,241	3,275		
経常損益 (A-B) C	29	15	152	156	31	12		
特	1 特別利益 D	1	0	2	0	0	5	
	2 特別損失 E	2	4	2	6	3	2	
特別損益 (D-E) F	△1	△4	0	△6	△3	3		
純損益 (C+F)	28	11	152	150	28	15		
累積欠損金	1,989	1,977	1,825	1,675	1,647	1,147		
不良債務	△3	△4	△177	△380	△416	△462		

##### 【資本的収支】 税込

項目		27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
収	1 企業債	268	123	150	145	216	91
	2 他会計出資金	2	3	0	0	4	0
	3 他会計負担金	253	248	236	138	163	148
	うち建設・医療機器分	253	248	176	78	80	73
	うち建物以外基準外	0	0	60	60	83	75
	4 道補助金	19	0	0	0	0	74
入	5 その他	2	3	26	15	2	1
	資本的収入計 A	544	377	412	298	385	314
支	1 建設改良費	322	146	165	161	237	191
	2 企業債償還	323	332	249	130	156	143
	3 その他	4	5	4	6	5	5
資本的支出計 B	649	483	418	297	398	339	
資本的収支 (A-B) C	△105	△106	△6	1	△13	△25	
補てん財源 E	105	106	6	0	13	25	
補てん財源不足額 (C+E)	0	0	0	△1	0	0	

##### 【一般会計繰入金】

項目	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
一般会計からの繰入金合計	1,118	1,072	1,016	888	895	764
うち基準	786	806	926	828	865	764
うち特別	160	80	90	60	30	0
うち追加分	172	186	0	0	0	0

## 5. 数値目標の達成状況

### 【収支改善にかかわるもの】

項 目	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	プラン目標値 (R2)
経常収支比率	100.9	100.5	104.5	104.8	101.0	100.4	100.2
経常収支比率(特別繰入を除く)	91.1	92.5	101.8	103.0	100.0	100.4	100.2
医業収支比率	75.4	75.6	79.7	80.4	76.7	76.3	77.4
修正医業収支比率	78.6	79.9	82.3	83.2	79.7	79.9	81.0

### 【経費節減】

項 目	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	プラン目標値 (R2)
職員給与対医業収益比率	68.3	66.2	63.7	62.8	65.8	66.2	63.5
材料費対医業収益比率	20.4	20.8	21.2	18.7	16.7	16.1	21.0
経費対医業収益比率	35.5	36.0	31.5	33.7	37.8	38.1	34.4
うち委託料対医業収益比率	13.8	14.4	13.7	14.6	15.6	16.3	14.8

### 【収入確保】

項 目	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	プラン目標値 (R2)
一般病棟入院患者/日	71.6	44.8	46.0	45.7	45.0	45.4	45.0
療養病棟入院患者/日	32.5	65.6	69.5	69.6	67.8	73.0	65.0
入院患者合計/日	104.1	110.3	115.6	115.3	112.8	118.5	110.0
外来患者/日	524.5	497.5	476.0	447.2	414.9	396.0	480.0

※ 各比率は税込決算額から算出しています。

※ 経常収支比率（100%を下回ると経常収支において赤字となる）

$$\frac{(\text{医業収益} + \text{医業外収益}) \times 100}{\text{医業費用} + \text{医業外費用}} \quad (\%)$$

※ 医業収支比率（医業活動そのものでの収益性を示す）

$$\frac{\text{医業収益} \times 100}{\text{医業費用}} \quad (\%)$$

※ 修正医業収支比率

（本来の医業の提供に係わる収益、費用のみで表される指数。100%を超えれば医業活動のみで利益を生んでいる状態）

$$\frac{(\text{医業収益} - \text{一般会計繰入}) \times 100}{(\text{医業費用} - \text{減価償却費} - \text{退職手当})} \quad (\%)$$